

第4次 小国町総合計画基本構想 概要

はじめに

“白い森の国おぐに”

小国町では、これまでその時々様々の変化等を的確にとらえ、まちづくりを展開するとともに、本町の地域特性である豊かな自然と、自然とともに生活してきた人々が育んだ生活文化、生活技術を大切する取り組みを進め、その成果が“白い森の国おぐに”

新たな基本構想の策定

急激に進む人口減少、少子高齢化が、まちづくりの様々な面に大きな影響を及ぼしており、今まで同様こうした変化に対応し、さらに次代に向け前進した“白い森の国”を築くため、平成30年（2018年）を目標年次とする新たな基本構想を策定

まちづくりの理念

小国の人々は、豊かな自然と鮮やかに移ろう四季の変化を上手に生かし、自立した生活を持続してきました。そのために、自然の条件に歩調を合わせ、一方で、自然に手を加えてその環境を創り、維持、保全に努力してきたことが、安全・安心な食糧や飲料水等を安定的に提供し、文化・伝統の創造に結びつきました。したがって、小国の人々が国土形成に果たしてきた役割は大きく、小国のような農山村が国土を支え、人々の生活を支えているといえます。このような小国の人々の生活の背景には、長い間培ってきた、協働の精神と強い意志、そして郷土を愛する心があるのです。



長い時間をかけて築いてきた小国を、暮らしやすさと活力の醸成という視点でさらに磨きをかけ、魅力を高めていきます。そして、そのための町民の主体的な力と多様な「協働と交流と連携」による力に結集し心を傾け、町民の幸せな生活を紡いでいきます。

まちづくりの基本姿勢

1 人口減少・少子高齢社会に対応したまちづくり

人口減少・少子高齢社会が確実に進行することによって、小国町を取り巻く内的課題は益々深くなっていくと想定されますが、これをきちんと受け止めながら、人口減少・少子高齢社会にふさわしい制度・しくみづくりを進め、「協働と交流と連携」の推進により、次代の人々に小国町を引き継いでいきます。

2 地域資源の活用と保全による地域産業の創出

小国町の誇る地域資源を保全しながら、それを生かした産業の振興を図るとともに、国内伝統産業における手仕事の伝承という役割を果たすための素材を、多様な交流を促しながら提供していくなど、新たな地域産業の創出を目指していきます。

3 多様な形での人の誘致と交流促進

二地域居住や交流居住、UJIターン等による定住、交流など多様な形での人の誘致・移動を促進していくために、行政、地域住民、コミュニティなど多様な主体が一体となった、滞在プログラムの充実を図り、長期間、短期間の交流による産業活動を盛んにしていきます。

4 小国の人々が育んできた生活文化・生活技術の継承と新たな展開

小国町の人々が育んできた独特の生活文化・生活技術を継承し伝承することは、集落が果たしてきた様々な機能の力を向上させることにつながり、こうした資源を求める多様な人々との交流も盛んにすることから、積極的な伝承活動を進めて地域の誇りを再認識するとともに、新たな展開に結びつけていきます。

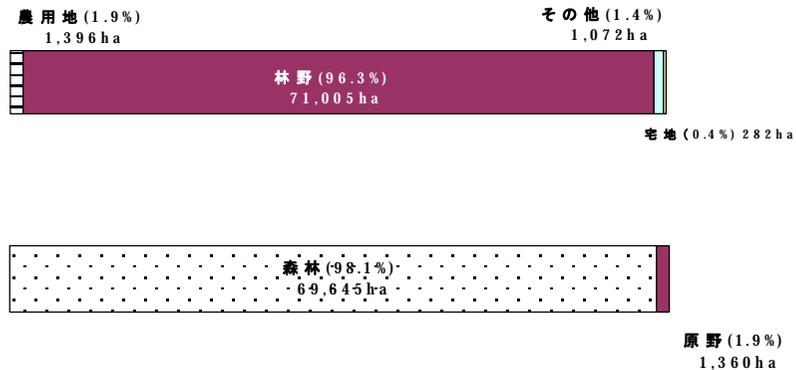
町の特性の評価

天の利～「雪」と「雨」は人々の生活を支え環境を潤す資源
 地の利～「ブナ」と「境界」がもたらした独特の生活文化と生活技術
 人の利～「自然環境」と「歴史・文化」が育んだ小国人の人間性
 時の利～「農山漁村」への熱い期待

小国町の降雪量、積雪量の推移（観測地点：小国小坂町・大宮）

区分 年次	降雪		積雪		根雪期間(日)
	降雪累計 (cm)	最大降雪深 (cm)	最大深 (cm)	月日	
61	802	57	1710	78	3/3 12/27 ~ 3/20 84
62	1,117	63	1724	164	3/9 12/24 ~ 4/7 75
63	610	68	1218	79	2/4 12/15 ~ 3/10 86
元	774	80	1726	118	1/26 12/17 ~ 3/7 81
2	1,164	73	2724	209	2/24 12/24 ~ 4/9 7
3	835	55	1724	119	2/26 12/10 ~ 3/31 98
4	919	57	272	97	2/3 12/12 ~ 3/25 106
5	1,250	59	1273	169	2/15 12/15 ~ 4/13 120
6	1,170	62	1277	177	2/8 12/15 ~ 4/6 116
7	1,217	82	272	209	2/2 12/16 ~ 4/14 121
8	619	47	1271	123	2/14 1/3 ~ 3/23 80
9	632	47	1720	145	1/27 3/24 79
10	677	47	274	121	2/15 12/31 ~ 3/18 78
11	1,119	75	1279	222	3/1 12/12 ~ 4/15 125
12	1,153	60	1278	230	2/13 12/25 ~ 4/14 111
13	837	41	2711	235	2/16 12/11 ~ 3/26 106
14	949	76	1272	129	2/1 12/11 ~ 4/2 113
15	880	55	1727	176	2/9 12/8 ~ 4/2 117
16	1,210	65	1711	228	2/24 12/22 ~ 4/15 115
17	1,224	50	179	246	2/6 12/9 ~ 4/19 132
18	503	38	378	95	2/3 12/29 ~ 3/29 91
19	944	50	1718	177	2/18 12/31 ~ 4/4 96

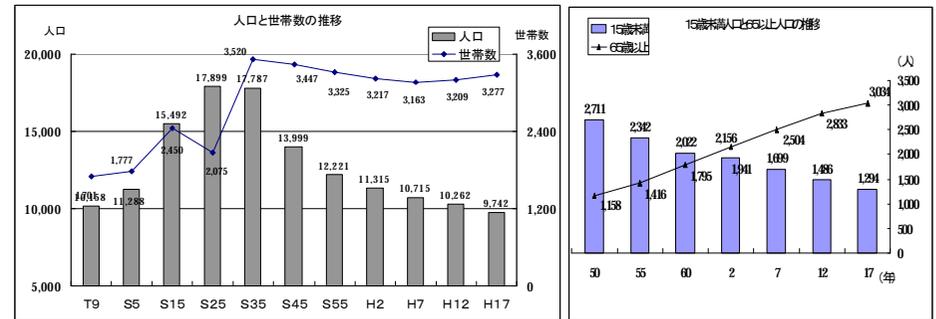
小国町の地目別面積（上）と林野の内訳（下）



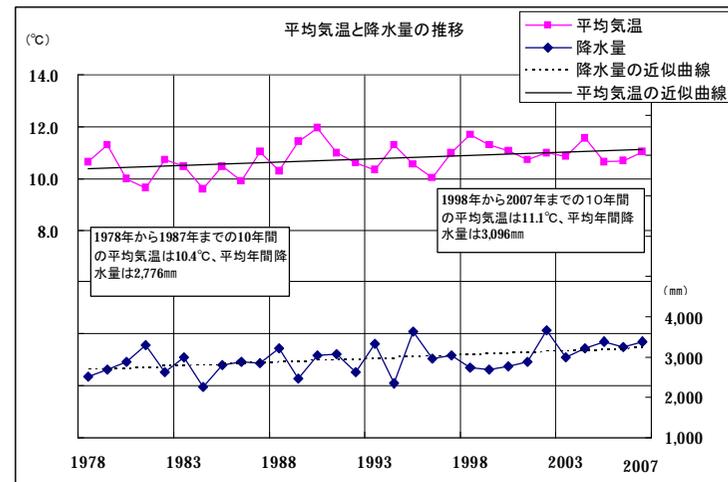
小国町を取り巻く環境変化

- ①人口減少・少子高齢社会の急激な進行
- ②自立した町の構築と多様な主体による地域経営
- ③環境と景観、そして農山村の保全

小国町の人口・世帯数の推移 15歳未満・65歳以上人口の推移



小国町の平均気温と降水量の推移



小国町の将来像

人と自然が織りなす やさしい暮らしがあるまち “白い森の国おぐに”

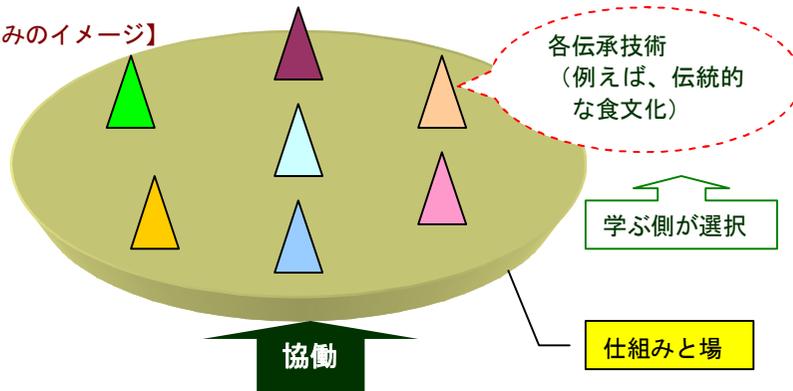
まちづくりの基本目標・施策の大綱(1)(2)

培ってきた知恵と技術が生きる力を育むまちづくり
～生活文化・生活技術の評価、継承と地域の誇りの再確認～

小国町に息づく独特の生活文化・生活技術を受け継いでいくことは、単なる継承にとどまらず、生きていく知恵を学ぶことにもつながるため、それを強く意識しながら、小国の人づくりを進めていきます。

- 子育てにやさしい環境の充実
- ふるさと小国を担う人づくり
- 知恵と技術の継承を進める仕組みと場づくり

【しくみのイメージ】



- ・技術を伝える人々 (町民)
- ・場をコーディネートする人々
- ・場所や環境を提供する人々・機関

地域資源に磨きをかけた次代の“しごと”を生み出すまちづくり
～地域産業の振興と新たな産業の創出～

今まで以上に地域の魅力を生かした地域産業を掘り起こし、育てていくことが大切であり、それが多様な交流を促進させることから、“小国の良さを主張する”産業振興と交流推進を図っていきます。

- 既存産業のさらなる振興
- 地域資源を活用した新たな地域産業づくり
- 多様な交流の促進による活力づくり

【上杉治憲公（鷹山公）が奨励した小国郷の副業一覧（安永九年：1780年）】

地区名	産物	地区名	産物	地区名	産物
赤柴(芝)	鱒、ウグイ	下小渡	芋	町原	コンニャク
朝篠	串柿	黒沢	クズ粉	足の水	ツキ栗
樽口	ウド	百子沢	トコロ	湯の花	イグサゴザ
田沢頭	松茸	増岡	畳表	網代瀬	芋、ヤマノイモ
針生	ミノ、結桶	団子山	鴨	北村	ドジョウ
古田	板敷居	金目	菅ゴザ、舞茸	玉川	葛布
若山	足駄	片貝	木履	舟渡	箕
種沢	木葛籠	伊佐領	大豆	小倉	芦
大滝	萱	子持峠	萩	砂田	ゴボウ
折戸	面桶	石滝	塗物	五味沢	松、塗具器、木地
今市	真綿	荒沢	トウハゼ	小玉川	すげ笠
滝	白芋、岩茸	荒川	山女魚	横川	鮎
田代	ワラビ	滝倉	鬼腸(不明)	樋倉	シシタケ
越戸	カモシカ皮	西根	カジカ	坂町	絹上々入布

まちづくりの基本目標・施策の大綱(3)(4)

支えあいの心が暮らしやすさをつなぐまちづくり ～つながりと絆で築く社会の形成～

小国町を形作っている集落と集落機能を維持していくために、人と人とのつながりを重視した関係性をまちづくりの中心に据え、町全体において町民同士が固い絆で結ばれた社会の形成を図ります。さらに、こうした集落機能を効果的に発揮していくために、町内により総合的な6つの地域づくり基盤を設定し、それぞれが地域の特性（テーマ）を基に物語を綴り、地域づくりを展開します。

- 安全で安心な暮らしづくり
- 健康を支える環境づくり
- 支えあう集落社会の仕組みづくり
- 協働と交流と連携による地域自立の実現

【高齢者を対象とした地域サロンの実施状況】

実施年度	実施地区数	実施回数 (のべ：回)	参加者数 (のべ：人)	世話人の数 (人)
平成18年度	13	—	(121)	(21)
平成19年度	19	127	1,886	66

※（ ）は、実施地区全ての数字がないため、一部の地区の数字を合計したもの

【まちづくりの基軸となる地域づくり基盤と地域づくりテーマ】

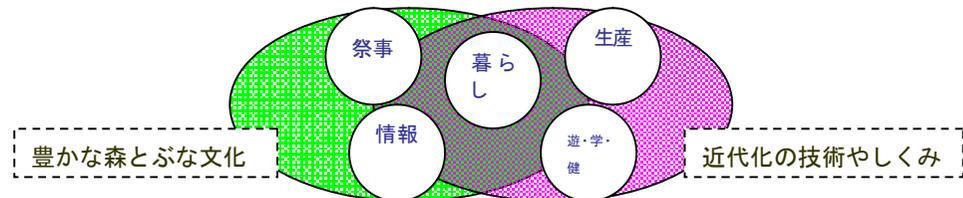


確かな豊かさを実感できるまちづくり ～地球環境への配慮と新たな価値観の創造～

豊かな自然環境の保全に向けた取り組みを進めることによって、存在そのものの尊さや減速の考え方による価値観への転換の重要性を認識するとともに、こうした考え方に基づく生活形態を、心の豊かさや健康を含めた“確かな豊かさ”にとらえ、各方面に情報発信していきます。

- 環境の保全を目指したまちづくり
- 豊かな農山村を実現する地域経営

【小国町環境基本計画（平成18年3月策定）で提案された「小国ライフ」】



※かつての小国ライフ（環境と融合した暮らし）を一つの理想型とした、新たな生活様式の確立を目指す

基本構想の推進に向けて

各施策に共通する視点

○協働のまちづくりの推進と自治基本条例の制定

多様な主体がそれぞれに協働を図りながら、地域づくりやまちづくり活動が展開できるしくみや環境を整備するとともに、自治基本条例の制定を進めます。

○行財政運営の健全化推進

行財政改革を一層推進するとともに、職員的能力向上に向けた取り組みを展開します。

主要プロジェクトの設定

I. 培ってきた知恵と技が生きる力を育むまちづくり

1) 子育てにやさしい環境の充実

▽中学生までの医療費無料制度の実現

2) ふるさと小国を担う人づくり

▽統合小・中学校の整備

▽小中高一貫教育の推進

3) 知恵と技の継承を進める仕組みと場づくり

▽山の暮らし伝承創造機構の創設

II. 地域資源に磨きをかけた次代の“しごと”を生み出すまちづくり

1) 既存産業のさらなる振興

▽地産地消の推進と学校給食の実施

▽町内企業の拡大発展支援

2) 地域資源を活用した新たな地域産業づくり

▽白い森ブランドの確立と産業素材の研究

3) 多様な交流の促進による活力づくり

▽森林セラピー事業の発展的展開

▽交流施設の整備と機能強化

III. 支えあいの心が暮らしやすさをつなぐまちづくり

1) 安全で安心な暮らしづくり

▽新潟山形南部連絡道路の建設促進

▽移動体通信とブロードバンド環境の整備

2) 健康を支える環境づくり

▽二次医療との連携強化に向けた電子カルテの導入

▽高齢者見守りネットワークの構築

3) 支えあう集落社会の仕組みづくり

▽集落支援員（仮称）の設置

4) 協働と交流と連携による地域自立の実現

▽地域づくり物語の協働作成

▽地域サロン・コミュニティレストラン等の展開

IV. 確かな豊かさを実感できるまちづくり

1) 環境の保全を目指したまちづくり

▽バイオマスエネルギーの利用推進

2) 豊かな農山村を実現する地域経営

▽美しい田園、里山形成事業の推進

▽新たな志（協働人口）の結集の推進

V. 基本構想の推進に向けて

▽自治基本条例の制定

まちづくりの理念

数千年という長い時間をかけて築いてきたかけがえのない小国を、暮らしやすさや活力の醸成という視点から磨きをかけ、魅力を高め、次の世代への循環を促すため、町民の主体的な力と多様な「協働と交流と連携」の力を結集して、小国の人々の幸せな生活を紡いでいきます。

まちづくりの基本姿勢

人口減少・少子高齢社会に対応したまちづくり

地域資源の活用と保全による地域産業の創出

多様な形での人の誘致と交流促進

小国の人々が育んできた生活文化・生活技術（ぶな文化）の継承と新たな展開

町の特性の評価

天の利

「雪」と「雨」は人々の生活を支え環境を潤す資源

地の利

「ブナ」と「境界」がもたらした独特の生活文化と生活技術

人の利

「自然環境」と「歴史・文化」が育んだ小国人の人間性

時の利

「農山漁村」への熱い期待の高まり

小国町を取り巻く環境の変化

・人口減少・少子高齢社会の急激な進行

・自立した町の構築と多様な主体による新しい地域経営

・環境と景観、そして農山村の保全

将来像

人と自然が織りなす やさしい暮らしがあるまち “白い森の国おぐに”

まちづくりの基本目標・施策の大綱

培ってきた知恵と技が生きる力を育むまちづくり
～生活文化・生活技術の評価、継承と地域の誇りの再認識～

1) 子育てにやさしい環境の充実	■中学生までの医療費無料制度の実現
2) ふるさと小国を担う人づくり	■統合小・中学校の整備 ■小中高一貫教育の推進
3) 知恵と技の継承を進める仕組みと場づくり	■山の暮らし伝承創造機構の創設

地域資源に磨きかけた次代の“しごと”を生み出すまちづくり
～地域産業の振興と新たな産業の創出～

1) 既存産業のさらなる振興	■地産地消の推進と学校給食の実施 ■町内企業の拡大発展支援
2) 地域資源を活用した新たな地域産業づくり	■白い森ブランドの確立と産業素材の研究
3) 多様な交流の促進による活力づくり	■森林セラピー事業の発展的展開 ■交流施設の整備と機能強化

支えあいの心が暮らしやすさをつなぐまちづくり
～つながりと絆で築く社会の形成～

1) 安全で安心な暮らしづくり	■新潟山形南部連絡道路の建設促進 ■移動体通信とブロードバンド環境の整備
2) 健康を支える環境づくり	■二次医療との連携強化に向けた電子カルテの導入 ■高齢者見守りネットワークの構築
3) 支えあう集落社会の仕組みづくり	■集落支援員(仮称)の設置
4) 協働と交流と連携による地域自立の実現	■地域づくり物語の協働作成 ■地域サロン・コミュニティレストラン等の展開

確かな豊かさを実感できるまちづくり
～地球環境への配慮と新たな価値観の創造～

1) 環境の保全を目指したまちづくり	■バイオマスエネルギーの利用推進
2) 豊かな農山村を実現する地域経営	■美しい田園、里山形成事業の推進 ■新たな志(協働人口)の結集の推進

基本構想の推進に向けて

1) 協働のまちづくりの推進と自治基本条例の制定	■自治基本条例の制定
--------------------------	------------